あなたと議会をむすぶ
No.184　発行／山梨県議会　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1　TEL 055-223-1814　令和7年（2025年）8月3日（日）（1）

やまなし県議会だより

5月17日に身延町内で開催された「令和7年度県民緑化まつり」に参加

六月定例会の概要

県議会は、令和七年六月定例会を六月十二日から二十七日までの十六日間の日程で開催しました。

開会日には、長崎幸太郎知事が総額二百二十三億四千四十三万六千円の令和七年度一般会計補正予算案などを提出しました。

提案理由説明において、知事はケアラー支援について「『気づく』『つなぐ』『支える』という三つの視点で整理し、支援の基盤整備を進めていく。最も重要なのは『気づき』である」とした上で、相談窓口や支援制度に関する情報へアクセスしやすくするため「これまでのセミナーやポータルサイトに加え、ケアラー支援推進員を養成し、より地域に根差した普及啓発と相談体制の構築に取り組む」としました。また、介護離職による人材流出は企業の事業運営に支障をきたすことから「経営者や管理職への働きかけを強化し、制度活用の促進と環境整備を進める」との考えを示しました。

物価高騰対策では、物価高が長引く今、県としても直接的かつ迅速に生活を守る責任を担うべき時であるとの判断から、夏休み期間中の「食」の確保に向けた緊急的な対策として「生活保護受給世帯や生活困窮世帯の小学生から高校生までを対象に、食料支援を実施する」と述べました。

さらに、ケアラーや貧困、ひきこもり、DVなど困難な状況に置かれた人を確実に支援へとつなげる取組については、新たな試みとしてインターネットでポッドキャスト番組を配信し「ポッドキャストが、人と人、そして支援の輪をつなぐ入り口となることを期待する。そこから行政やNPO、地域の支援者による確かな支援へと結びついていくことを目指す」と述べました。

知事の説明を受けて十七日から二十日までの四日間、代表・一般質問を行いました（詳細は二面）。

二十三日には教育厚生及び農政産業観光の各委員会を、二十四日には総務及び土木森林環境の各委員会を開催し、付託案件及び所管事項の審査を行いました（詳細は三面）。

定例会最終日の二十七日の本会議では、令和七年度一般会計補正予算や県職員の育児休業等に関する条例等の改正、県道路公社が行う有料道路の料金及び料金の徴収期間の変更に関する同意、議員発議によるケアラー支援の充実・強化を求める意見書など二十二案件を可決・承認して閉会しました。

渡辺淳也議長は、閉会のあいさつの中で「県議会では、議会としての機能と役割を十分に発揮すべく『県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会』や『やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会』を設置するなど、精力的に取組を進めている。今後とも引き続き尽力していく」と決意を述べました。

ケアラー支援の充実・強化を求める意見書を可決

介護需要の急速な増加は家庭や職場などへ多大な影響を及ぼすことが懸念されており、もはや誰もがケアラーとなり得る状況にあります。持続可能な社会の実現のためには、ケアラー支援の重要性を広く浸透させ、その取組を推進することが必要であることから、県議会では「ケアラー支援の充実・強化を求める意見書」を本会議で可決し、衆参両院議長及び関係行政庁あてにそれぞれ提出しました。

佐野弘仁副議長　略歴

六月定例会では、副議長に佐野弘仁氏（公明党・甲府市選挙区）を新たに選出しました。

平成三十一年四月
県議会議員初当選、以来二期連続当選
甲府市伊勢二―一五―一六
六十二歳

新盆のあいさつまわりの自粛

新盆のあいさつまわりにつきましては、自粛することを申し合わせています。県民のみなさまのご理解をお願い申し上げます。　山梨県議会議員一同

県議会トピックス

議事堂見学 in 信玄公祭り

県議会活動を身近に感じてもらうための取組として、第51回信玄公祭りで「議事堂見学in信玄公祭り」を実施しました。当日は、本会議場を一般開放し、県議会の歴史、議会の仕組みなどのパネルや山梨の魅力をPRする写真の展示を行いました。また、議事堂前では議員が信玄公祭りのパンフレットなどを配布しました。

ベトナム・イェンバイ省友好訪問

県議会では、山梨県と国際交流協力に係る覚書を締結したベトナム・イェンバイ省人民委員長からの訪問要請を受け、友好訪問団を編成し、6月7日から10日までの日程で、同省を訪問しました。訪問先では、友好関係の促進及び両県省の発展に向けた交流のほか、現地調査を実施するなど、友好関係の深化等に努めました。

ベトナム・イェンバイ省への表敬訪問

県議会のホームページもご覧ください。 定例会の日程や会議録の検索など、議会の情報が満載です。本会議のインターネット中継も見ることができます。
山梨県庁ホームページの中段、県政情報にある「県議会」から入ることができます。（ホームページアドレス　https://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html）

6月定例会では、6月17日から20日までの４日間にわたり、代表質問・一般質問を行いました。
各議員の質問事項は次のとおりです。（二次元コードを読み込むと質問の録画配信をご覧いただけます）

代表質問

水岸 富美男（自由民主党 政風やまなし）

- ケアラー支援
- 生活保護受給者に対する就労支援
- 米国関税措置への対策
- インド・ウッタル・プラデーシュ州との友好関係構築の推進
- インバウンド観光の推進
- 富士山五合目の再整備
- 武田の杜を活用した地域の高付加価値化
- 県産果実の更なる輸出拡大
- カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み
- 林業における労働力の確保・定着
- 林野火災
- 山岳遭難の発生状況と防止対策
- マイナンバーカードと運転免許証の一体化

桐原 正仁（自由民主党新緑の会）

- 生活困窮者への支援
- フラッグシップ道の駅による地域ブランド化の推進
- 富士山噴火時の降灰対策
- 「新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定
- 山梨ワインの輸出拡大に向けた取り組み
- 国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の選手強化及び指導者の自立・自活に向けた取り組み
- 安全で快適な富士登山環境の実現
- 山梨デザインセンターの取り組み
- 県産果実の生産振興とブランド力の向上
- 峡東地域における幹線道路の整備
- 県庁におけるカスタマーハラスメントへの取り組み
- 県立高等学校の魅力向上
- 県警察の富士山噴火対策

土橋 亨（未来やまなし）

- トランプ関税による本県への影響と対応策
- メディカル・デバイス・コリドー構想の推進
- 企業におけるビジネスケアラーの支援
- 山梨県ひとり親家庭等自立促進計画の改定
- 山梨県立大学における多様な学び
- ＪＲ中央線における早朝特急の定着
- 循環器病対策
- 山中湖畔県有地などの賃貸借契約
- 再生資源物の不適正保管等の防止
- 富士山五合目の景観改善
- 文化財の保存・活用の取り組み
- 山梨近代人物館の移設
- 学校における働き方改革の取り組み

一般質問

大久保 俊雄（自由民主党 政風やまなし）

- 企業に対する人材確保支援
- 富士スバルラインにおける新交通システムの検討
- 映画やアニメなどのロケ地を活用した観光振興
- 甲武信ユネスコエコパークを活用した地域活性化
- 新たな御坂トンネルの整備
- 平等川の改修
- 再犯防止の取り組み

伊藤 毅（自由民主党 新緑の会）

- 県内公共交通網の再編
- 強度行動障害のある方への支援
- 不妊治療支援の充実
- 中高生の英語力の向上
- 不登校対策
- デジタル人材の育成及び就労支援
- ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺被害防止対策

向山 憲稔（自由民主党 政風やまなし）

- 住まいの貧困
- 富士山における安易な登山への対応
- コメ問題
- 避難行動要支援者の個別避難計画の策定
- 子どもの居場所づくり
- 山梨県警察の体制強化

望月 大輔（自由民主党 新緑の会）

- やまなし大使を活用した情報発信
- インドとの交流の推進
- リニア山梨新駅周辺整備
- ドローン技術活用への取り組み
- 認知症予防対策

飯島 力男（自由民主党 政風やまなし）

- 困難な状況にある方を支援につなげる情報発信
- 地域における子ども支援体制のネットワーク構築
- 保育人材の確保に向けた取り組み
- 子どもの居場所づくり
- 人口戦略フォーラム
- 富士トラム導入に向けた今後の取り組み
- こども食堂への支援
- 持続可能な果樹農業の推進
- 農作物の病害虫対策
- 新山梨環状道路の整備促進

白壁 賢一（自由民主党・開の国）

- 米国関税措置の影響にかかる県内中小企業の支援
- インバウンド消費の今後
- 県庁におけるパワーハラスメントへの取り組み
- 自殺防止対策の推進
- 国立大学病院への支援
- 富士山における生態系の保全
- 飼料価格高騰に伴う酪農家への支援
- 県管理道路の橋梁の耐震化
- 公立小中学校におけるデジタルを活用した取り組み
- 飲酒運転の現状と根絶に向けた取り組み

中村 正仁（自由民主党 政風やまなし）

- 指定管理者制度における指定期間の在り方
- ユニバーサルツーリズムの推進
- やまなしパラスポーツセンターを活用したパラスポーツの推進
- シャインマスカットの未開花症の原因究明に向けた取り組み
- 県道笛吹市川三郷線の整備
- 部活動の地域移行に向けた進捗状況と今後の取り組み

菅野 幹子（日本共産党）

- 病床削減
- 生活保護
- 学校給食
- ジェンダー平等
- 重度心身障害者医療費後払いモデル推進事業
- 富士トラム
- 県有地

佐野 弘仁（公明党）

- 社会的孤立である、ひきこもり状態にある方への寄り添い支援
- 災害用備蓄食料の利活用
- 災害時における福祉的支援及び自治体間の広域避難に係る連携
- 大規模災害時における行政書士の活用
- がん教育授業
- 県産米の生産力の強化と販路拡大
- 路面下空洞調査の実施

福井 太一（えがお夢）

- 「教育立県山梨」の深化に向けた教職員のウェルビーイング向上
- 子どもへの食料支援
- スクールソーシャルワーカーの活用
- 多文化共生社会の裾野拡大に向けた日本語習得環境の充実
- ジェンダー平等に向けた意識改革の更なる推進
- 小淵沢エリアの持続的な発展に向けた県の取り組み
- 避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み
- 豊かさ共創スリーアップ
- 地球温暖化に適応する水稲の生産振興
- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた機運醸成

可決された主な議案

- 山梨県議会議員及び山梨県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件
- 山梨県行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例中改正の件
- 選挙長等の報酬及び費用弁償条例中改正の件
- 山梨県職員の育児休業等に関する条例等中改正の件
- 山梨県地域経済牽引事業促進区域における県税の特別措置に関する条例中改正の件
- 山梨県警察官支給品及び貸与品条例及び山梨県交通巡視員支給品及び貸与品条例中改正の件
- 令和七年度山梨県一般会計補正予算
- 令和七年度山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算
- 令和七年度山梨県流域下水道事業会計補正予算
- 契約締結の件
- 動産購入の件
- 山梨県議会会議規則中改正の件
- 山梨県議会委員会条例中改正の件

可決された意見書

- 学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善及び「カリキュラム・オーバーロード」の改善並びに義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- ケアラー支援の充実・強化を求める意見書

採択された請願

- 学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図ることについて

議案に対する各会派の賛否（起立採決分）

議案の名称	議決結果	自由民主党政風やまなし	自由民主党新緑の会	未来やまなし	自由民主党・開の国	日本共産党	公明党	リベラル山梨	やまなし県民会議	えがお夢	無所属
知事提出議案											
第８１号（令和7年度山梨県一般会計補正予算（第2号））	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議

○：賛成，×：反対，議：議長

その他の議案を含めた議員別の賛否はホームページでご覧いただけます。

委員会リポート

総務、教育厚生、農政産業観光及び土木森林環境の四常任委員会は、六月二十三日及び二十四日に令和七年度一般会計補正予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行い、同月二十七日の本会議では、各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

総務委員会

委員長　向山　憲稔

子どもの貧困対策緊急食料支援事業費

問 本事業を実施する経緯と具体的な内容は。また、今後の食料支援をどのように考えているのか。

答 長引く物価高騰の中、食料品の価格は高止まりしており、生活困窮世帯や子育て世帯の暮らしは大変厳しい状況である。

また、学校給食がない長期休暇中は、子供たちの食生活への影響が懸念されている。

このため、夏休み期間に向けた緊急的な対策として、児童生徒への食料支援を実施する。

支援対象は、生活困窮世帯の小学生から高校生までとし、夏休み期間が始まる七月中旬以降に希望する世帯に対し、学校給食の代替となる一か月分の食料品を届ける予定である。

今後は、市町村や民間団体と連携しながら、県下全域に、継続的・安定的に食料支援が行われる仕組みづくりを検討していく。

【その他の主な質問事項】
- 「道の駅」フラッグシップ化推進事業費
- インド友好交流推進事業費
- 富士五湖自然首都圏フォーラム・カリフォルニア州連携強化事業費
- ポッドキャストを活用した相談・支援接続促進事業費
- 航空機維持管理事業費

教育厚生委員会

委員長　小沢　栄一

不登校児童生徒学習機会創出モデル事業費

問 本事業を実施する経緯は。また、事業の内容と期待する効果は。

答 フリースクールなど学校以外の民間施設を利用する児童生徒は、自分のペースで学習や生活を進めながら、社会とのつながりを築いている。このような児童生徒に対しては、ICTを活用した課題解決型の学習、いわゆるPBLによる探究的な学びが有効と考えられることから、その方法や内容について検証することとした。

本事業では、フリースクール等を会場として二回のワークショップを開催し、ウェブデザインなど自分の興味に合うコースを選ぶ一日体験型のプログラムを実施する。

また、ワークショップを体験した児童生徒やフリースクール等の職員を対象にアンケートを実施し、学校外での学びの方法や内容について検証していく。

期待する効果としては、多様な学びの機会を提供することで、児童生徒が自分に合った学びを主体的に選択できるようになり、その選択肢を広げていくことを目指している。

【その他の主な質問事項】
- スクールソーシャルワーカー養成事業費
- ケアラー交流支援事業費
- ケアラー相談支援強化事業費

農政産業観光委員会

委員長　流石　恭史

新規就農者育成総合対策事業費

問 本事業中、経営発展支援事業費補助金については、新規就農者のうち、就農時五十歳未満の独立・自営就農者等を対象としているが、その理由は。また、親元就農で年齢などの事業要件から、この補助金の対象とならない新規就農者への支援は。

答 当該補助金は国の事業であり、国が策定する食料・農業・農村基本計画において四十九歳以下の担い手の維持が目標に掲げられていることから、これを受けての年齢要件と考えている。

担い手の確保に当たっては、新規就農者のみならず、親の農業経営や農業技術を継承することができる農家子弟も大切な存在であると認識している。

このことから、国の定める要件に合致しない新規就農者に対しても、隙間なくサポートできるように、県の単独事業を各種用意しており、これらの事業をうまく活用しながら、今後も親元就農者を含め新規就農者に対し、しっかりと支援していきたい。

【その他の主な質問事項】
- 米国関税影響等調査事業費
- 中小企業サポート連携事業費
- 富士山五合目再整備調査検討事業費

土木森林環境委員会

委員長　大久保　俊雄

高性能林業機械等整備事業費補助金

問 ドローン搭載型レーザースキャナーを導入することで期待される効果は。また、こうしたICTなどの先端技術をどのように普及させていくのか。

答 ドローンに搭載したレーザー測量装置により、上空から地表や樹木などに向けレーザーを照射し、対象物の形状や位置を高精度に、かつ三次元で計測することが可能となり、危険な場所での作業負担が大幅に軽減され、安全性の向上にも大きく寄与する。

加えて、取得した広範囲にわたる森林の詳細な三次元データを用いることで、林業経営体は合理化された施業計画を迅速に立案できるようになるため、生産性の高い安定した林業経営が期待される。

一方、多額の初期投資や技能者の育成などが課題であるため、普及促進に向け、林業経営体に対し、導入経費を助成するとともに、技術研修や操作支援など導入効果を早期に発揮するための取組を進め、持続可能で安全性の高い林業の実現を目指す。

【その他の主な質問事項】
- 山梨県道路公社が行う有料道路の料金及び料金の徴収期間の変更に関する同意の件

県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会を設置

四月二十三日に開催した山梨県議会政策立案特別検討会議において、「県内経済の活性化策」が政策提言案の対象とすべき事項に決定されたことを受け、県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会（長澤健委員長）を設置しました。

同委員会は、五月十九日に第一回、同月三十日に第二回の会議を開催し、県の取組について調査するなど、政策提言に向けて研究及び検討を行っています。

県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会	
委員長	長澤　健
副委員長	寺田　義彦
委員（8名）	大久保俊雄 藤本　好彦 久嶋　成美 伊藤　毅 清水喜美男 名取　泰 飯島　修 福井　太一

やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会を設置

四月二十三日に開催した山梨県議会政策立案特別検討会議において、平成二十九年に制定した「やまなし子ども・子育て支援条例」の検証を行うことが決定されたことを受け、やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会（向山憲稔委員長）を設置しました。

同委員会は、五月十九日に第一回、同月三十日に第二回の会議を開催し、七月一日には東京都内でこども家庭庁の最近の取組状況等について調査するなど、研究及び検討を行っています。

やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会	
委員長	向山　憲稔
副委員長	望月　大輔
委員（8名）	飯島　力男 石原　政信 中村　正仁 渡辺　大喜 古屋　雅夫 菅野　幹子 佐野　弘仁 志村　直毅

デジタル化推進委員会

デジタル化推進委員会（卯月政人委員長）では、本年度も、県民サービス向上及び業務効率化のためのデジタル化推進に関する事項について協議を行っています。

デジタルツールを活用し、議会運営の合理化を図り、開かれた議会の取組を一層推進する観点から同委員会で協議してきた議会手続のオンライン化に係る諸規程の改正等については、検討した改正案を六月十二日に開催された議会改革検討協議会に報告し、了承され、条例等については本会議で可決されました。

引き続き、本県のデジタル化を効果的に推進するため、研究及び検討を行っていきます。

社会資本整備推進山梨県議会議員連盟 臨時総会開催及び要望活動の実施

本県の社会経済活動の持続的な発展及び県民生活の更なる向上に資する社会資本整備の推進を目的として、四月に山梨県議会議員連盟（渡辺淳也会長）を設立しました。

同議員連盟は、五月二十八日、東京都内で臨時総会を開催し、国に対して十分な予算の確保を求めていくことなどを決議しました。

総会には長崎知事をはじめ、県関係の国会議員、同議員連盟の趣旨に賛同する市町村議会議員が多数出席しました。会議では、県土の強靱化、県民生活の充実、防災・減災対策の推進に向けて、県民の皆様の期待に応える「オールやまなし」の体制で取り組んでいくことも併せて了承されました。

総会終了後には、自由民主党・公明党・立憲民主党の三党及び国土交通省・農林水産省に対し、県議会議員と市町村議会議員が連携して要望活動を実施しました。

社会資本整備の推進に向けて「オールやまなし」で取り組んで参ります！

関東甲信越一都九県議会議長会

五月七日、宇都宮市内で関東甲信越一都九県議会議長会が開催されました。渡辺淳也議長と臼井友基副議長（当時）が出席し、本県提案の「ひきこもり支援基本法の制定を求めることについて」をはじめ、各都県から提出された項目を国へ要望することが決定されました。

また、翌八日は、同市内のライトキューブ宇都宮において、次世代型路面電車「芳賀・宇都宮LRT（愛称：ライトライン）」の概要説明を受けた後、乗車体験を行ったほか、車両基地を視察しました。

提案を行う渡辺議長

LRT車両基地で視察を行う渡辺議長（中央）、臼井副議長（当時、右）

山梨の夏服「かいくーる」をPR

六月定例会の開会日に、全議員と県幹部が、富士北麓の繊維産業の活性化を図る取組の一環として山梨の夏服「かいくーる」を着用し、PRしました。

「かいくーる」シンボルマーク

9月定例会の予定

9月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催を実施する予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

9月24日（水）本会議（開会）	10月3日（金）常任委員会
29日（月）本会議（質疑・質問）	6日（月）常任委員会
30日（火）本会議（質疑・質問）	7日（火）常任委員会
10月1日（水）本会議（質疑・質問）	9日（木）本会議（閉会）
2日（木）本会議（質疑・質問）	

※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

ホームページ、会議録をご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。

また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、最寄りの各地域県民センター、お住まいの市町村議会事務局でもご覧いただけます。

山梨県議会　検索

紙面や議会広報へのご意見、ご希望をお寄せください。また、点字版・ホームページ上の音声版もご利用ください。
宛先　〒400-8501　甲府市丸の内1−6−1　山梨県議会事務局議事調査課　TEL 055-223-1814　FAX 055-223-1817　Eメール gijichosa@pref.yamanashi.lg.jp